

お客様訪問

Honda Cars 山陰中央
米子車尾店 様

〒683-0006鳥取県米子市車尾3丁目3-58
TEL 0859-22-9246
FAX 0859-22-9280

5月28日、ホンダカーズ山陰中央本社兼車尾店様がリニューアルオープンしました。

存在を期待される企業に

これは、社是として、脈々と受け継がれている。企業活動の重要なテーマの一つとして、環境保全活動が位置づけられている。人の健康維持と地球環境の保全に積極的に寄与していくということだ。例えば、敷地内に太陽光発電設備が設置され、事務所電力を一部まかなっている。また、廃棄物、汚染物質の最少化と適切な処理をうたっている。

この部分で、私達(山陰興業)が関係している。私達(山陰興業)は廃棄物を収集し、それを再生していることもその活動の一端です。

植田工場長様が言われるように、「親(しん)・早(そう)・確(かく)・安(やす)」が、キーワードになっている。これは、お客様に対して、親切(親身)に、早く、正確に作業し、しかも安全に安く、である。お客様に安心、安全を提供していかなければならない。そして、お客様のご希望に添えるように、最大限の努力をしていく。

また、中尾課長様からは、「お客様に、より快適にお過ごしいただけるよう、安心して来店していただき、安全を提供し、お客様に満足していただけるよう全スタッフで頑張っていきたい。」と、身の引き締まるお言葉を頂いた。

実際、新店舗の集客効果は抜群で、通勤族のお客様、他社で中古車購入されたお客様の車検・修理等が増えているようだ。



植田工場長様(写真左)と日野店長様



「きれいで働きやすくなった。現場が楽しい！」とサービススタッフの笑顔が

「親・早・確・安」(しん・そう・かく・やす)



笑顔がステキな造田様と坂口様(写真左より)

縁の下の力もち

オープン前に、自動車機械工具の総合会社である株式会社イヤサカ様と整備工場の廃油圧送システムのテストを実施させていただいた。

3箇所ある廃油投入口にA重油を投入し、油庫の廃油タンクまで、油の圧送がうまくおこなわれるか、また、廃油タンクの油量がセンサーに達したとき、圧送の停止とパイロットランプの点灯を確認した。試行錯誤しながらであったが、無事に廃油圧送できることが確認された。

廃油の圧送システムについて、効率=コストということで、廃油処理が格段に楽になり喜んでいただいた。中尾課長様から「縁の下の力持ち」という表現で、イヤサカ様と山陰興業の廃棄物処理関係の仕事の評価していただいた。

整備工場内は、すべてオートメーション化されている。車検等の整備内容は、サービス事務所から、コンピュータ入力され、ピット備え付けのディスプレイに検査の結果が表示される。入庫台数が多く大忙しの毎日。うれしい悲鳴だ。

社員の皆様は明るく元気がよく、張り切ってられます。是非ご来店ください。(長野)



お客様から頂いた廃油を赤いタンクに1滴もこぼさず、ためています。



宍道湖・中海一斉清掃

6月12日、宍道湖・中海一斉清掃に弊社からも参加させていただきました。社員の家族や社員の友達なども応援してくれました。

松江温泉付近は、温泉旅館に宿泊した観光客が散歩したり、市民のランニングやウォーキング等で往来が多い箇所です。ゴミ等は落ちておらず、草取りを中心に行いました。ゴミがないのは、普段から、市民の方々が環境への取り組みをしている証です。今後も継続して参加していきます。(安原)



交通安全



松江営業所が、2011年度交通安全モデル事業所に指定されました。

モデル事業所は、松江市・松江警察署が、企業や学校などで交通安全意識の向上にむけた活動をしてもらうことを目的に指定されます。期間は7月1日から3年間です。職場や家庭でも、交通事故のない安全な街づくりに取り組んでいきたいと思います。(長野)



松江市役所で行われた指定書交付式。10団体に交付されました。



杉本卓の「メディアに軽重はあるか」を読んで

インターネットや携帯電話が普及した現代、電子メールでのやりとりはとても身近な連絡手段となりました。普段から友人との何気ないやりとりや、時には会社での連絡事項に使用することもあります。

しかし、何から何まで電子メールで済ませていいとは限りません。ここまで一般的になった電子メール以外にも、手紙、電話、ファックスなど様々な連絡手段が存在します。場面や内容によって適切な手段を選ばなくてはなりません。

お礼の文を出す際、電子メールやワープロで書かれた手紙よりも手書きの手紙や電話で伝えた方が文字や声に自分らしさを出せるので、相手に気持ちが伝わりやすいのではないかと思います。(勝部)

FRPタンクライニング



3月25日、財団法人全国危険物安全協会より鋼製地下タンクFRP内面ライニング施工事業者認定を受け、当社でも施工が可能になりました。

対象となるタンクは、平成25年1月31日までに、対策が必要です。

是非、ご相談下さい。(工事部)



松江市西川津町楽山公園のスイレンの花。うっそうとした木々の中にスイレン池があります。

つなみ

被災地の子ども80人の作文集
文藝春秋 8月臨時増刊号

作家の塩野七生氏が冒頭の言葉として「再興は、以前の状態にもどすことではなく、この先に長い人生が控えているこの子たちが、安心して喜んで住める街にすることではないかと思う。」

何よりもこの本を開くと、どのページにも子供たちのエネルギー溢れる笑顔に驚きを持って引き込まれます。約66年以上前、今の震災を上回る被害が全国に発生しました。戦争によって多くの人命が失われ、全国の主要都市は焦土と化し、長崎、広島は歴史上初めて原子爆弾によって破壊されました。しかしその後先輩達が力を一つに合わせ、今まで以上に復興しました。

そのとき私は5才でした。母は夫を戦争で失い、祖母と4人の男の子を一人で育てくれました。振り返ってみて、その時私はこんな明るい、元気に満ちた笑顔に振り回されていたのだろうか？ 正直言って疑問です。

この子供たちの周りに勇気を与える笑顔と、力強さを秘めた作文はどこから来るのでしょうか？ 子供たちと日本の明るい未来を明示しているように感じます。

(山根)



ちょっといい話 18

工事部のドリームカー製作が着々と進んでいます。

このたび、東急車輛特装株式会社群馬製作所を訪問しました。図面で我が社の要望が反映されているか、問題点はどこかなど、予定時間を超えて解説、討論しました。

山陰興業(株)工事部として、初の地下タンク清掃専用車で、協力的かつ慎重な対応でした。納期も大事だが、品質はもっと大切との強い思いが伝わってきました。意義ある打ち合わせができました。

(河上・岡田)



今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、**島根県産アムスメロン**です。締切は7月末です。奮ってご応募下さい。



Q: 平成23年に登録された、日本の世界遺産をすべて教えてください。

先月号の答は「医学博士として経験を生かした任務で、医学的な実験やタンパク質の結晶化実験等々」でした。抽選の結果、米子市 浜田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

蔵書新着状況

- ・ 答えは現場にあり 大畑誠也 ぱるす出版
日本経営合理化協会 作間様ご推薦
- ・ 「就職率100%」工業高校の秘密 久保田憲司 PHP研究所
吾郷リーダー推薦
- ・ 学び直す日本史(近代編) 近現代史研究室 PHP研究所
- ・ 雲州松江の歴史をひもとく 松江歴史館 ハーベスト出版
- ・ 体脂肪計タニタの社員食堂 タニタ 大和書房
足立社員推薦
- ・ 人生談義 松下幸之助 PHP研究所
- ・ 山陰の古事記謎解き旅ガイド 古代出雲王国研究会 今井出版

編集後記

節電対策を受け、節電レシピなるものが登場し、とても参考になっている。人間は、困ったときには、いろいろな知恵を働かせ、よい対処法をつくりだすものだと感心する。逆境の状況にあるからこそ、頭をひねって知恵をだすのだ。節電レシピは、家庭にある調味料や野菜、缶詰などを組み合わせた、加熱の要らない調理方法が中心だ。いずれも料理を楽しみつつ、短時間ででき、実用にも役立つ内容といえる。調味料や食材の組み合わせ等、既成概念を覆すものもあり、とても興味深い。この際、買い置きのお食品を使い切ってしまうと考えている。冷蔵庫や食料庫の整理に役立ち、節約にもなりそう。

(長野)

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字~1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。



2011
7月
Vol.218



「昔の山陰興業さんはねえ・・・」

長く取引をさせていただいている、株式会社ダイハツメタル 磯田様の苦言だ。

『感動』



磯田様は長年、SO事務局として環境品質の実務に携わっておられます。

山陰興業への苦言・直言

「昔は、廃棄物引き取りを依頼しても、直ぐに来てくれなかったり、書類等の不備があったりと、山陰興業の対応は誉められたものではなかった」と、真摯な苦言・直言をくださる磯田様だ。それだけに、弊社に対する想いは熱い。

磯田様は、以前、エコス通信の取材をさせていただいた。それ以来、エコス通信をファイリングしてくださっている。——毎月興味をもって読んでいるのが、「社員への手紙」と「環境事故」の記事で、社内回覧もしている。例えば、油流出事故の記事を参考に、株式会社ダイハツメタルの排水経路図に敷地外を追加した。万が一、流出事故があった場合、神西湖へ流出することになる。社外の水路ルートを現地調査し、図面作成し、緊急時対応ができるよう周知している。弊誌の記事を参考に、自社の問題として取り組んでくださる。

編集子冥利に尽きるお言葉だった。

(長野)

「事故隠しは厳罰に処する」という山陰興業の方針について、——事故を隠すことが同様の事故を再び起こす原因になっている。事故を公表し、厳しく原因追及し、対策することで、他の同様な事故の発生を防ぐことができる。事故を公表することの意義は大きく、その勇氣に感心する。と言っていた。

尊い応援団

真摯な苦言・直言のその向こうに、アドバイスや激励や感動をくださる磯田様。その熱い想いは「お客様」という枠を超えて、弊社の「尊い応援団」のように思えるのです。

このような「尊い応援団」の皆様を支えていただけて継続できた「エコス通信」。身の引き締まるような思いで、読者の皆様に「感謝」をお届けいたします。

初めて編集子の個人的な感動を掲載してしまったような気がする長野です。



新しい価値と生きがいをつくります

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

家庭から使用済みの天ぷら油を集める人。それをリサイクルして、新しく環境にやさしいエネルギーを作る人。そのエネルギーを使って社会のお役に立つ人。

その三人みんなが力を一つに合わせ、捨てられるものを集め、リサイクルして新しい価値をつくります。そして地域の繁栄のお手伝いをする。そしてふる里の川と空をもっときれいにする夢を描く。

三人は、三つの喜びの輪を広げ、自分に自信と誇りを持つのです。

さて私たちは約40年にわたって、この地域から出る使用済み潤滑油を収集して、毎月大型タンクローリー40台を超えるSオイルという地域産のエネルギーを創ってきました。そのエネルギーに新しい価値を積み上げると同時に、一緒に携わる人たちと共に新しい生きがいと喜びを共有します。その新しい計画とは、

1.集める人：浜田市と出雲市の施設の利用者の皆さんが、地域の子供たちや主婦の皆さんに協力してもらい、家庭や市内から使用済みの天

ぷら油を集める。社会的にも経済的にも自立を進める。

2.作る人：私たちは、従来からのSオイルに、集めた使用済み天ぷら油を、一定の割合で均質に混合し、正しい品質管理を行い、バイオ再生重油（仮）にリサイクルする。JIS化を目指す。

A重油に比べて

燃焼効率を向上させる。

使う人の使いやすさ、省力化を進める。

環境負荷が低減するための燃焼技術を改善し熱利用技術の向上を進める。

結果使う人に強く必要とされる品質とサービスを高める。

3.使う人：出雲市の食品メーカーの皆さんは、このボイラー燃料の持つ良さを活用して、その食品の価値を上げ、高価格で売れる商品をつくる。松江市の宿泊施設の皆さんは、全国からお客さまが口コミで集まる。そんな魅力づくりをする。結果お客さま単価が上がる。

私たちは、新しい価値と生きがいを作ります。

私はこう考え、こう実行します

【安原】

新しい価値づくり、三方良しの事業に具体的にに関わり成功させます。

【松下】

お客様のお役に立つアドバイスや提案が出来るようにする。

【岸本】

お客様の立場に立って考え、お役に立てるサービスを提供する。

【福間】

集める側のお客様に、地域循環を理解してもらう。

【福島】

“もったいない精神”の普及に努める。

【吾郷】

できるだけ多くの方と名刺交換し、自分を覚えて頂きます。

【木村】

今の品質の製品を作り続ける。

【榎並】

お客様への提案事項を実現できる様に部内で協力し合います。

【山口】

私がお客さまが安心してオイル交

換ができる環境にします。

【岡田】

お客さまの役に立つ社員になります。

【横地】

お客様に私たちがしている事をもっと知ってもらう為に、収集用パンフレットを全てのお客様に配ります。また、家庭でも今まで捨てていた物でも、リサイクル可能な物は、リサイクルにまわします。

【松本】

地域のみなさんと一緒にリサイクルの輪を大切にします。

【植尾】

お客様の要望に答え、より良いサービスを目指す。

【高橋】

私は新しい価値と生きがいをつくるためにJIS化にともなう実験をします。

【恩村】

新しいものをどんどん取り入れ、質を上げていきます。

【勝部】

強く必要とされる、品質とサービスを提供する。

【藤原】

新しい価値と生きがいを作るよう頑張ります。

【村上】

相手のことを考えて行動します。

【中村】

常に問題意識を持ち続けるために、自問自答をくり返す様努力をします。

【清水】

お客さまのことを考え、お互いに利益のある仕事をしたいです。

【足立】

仕事のやり方、生活スタイルなどを見直し、自分自身の価値を高めます。

【長谷川】

何事も前向きに取り組んでいきます。

【長野】

エコス通信の新しい価値を作り出し、ファンをさらに増やしていく。



フレキシブル配管破損から学ぶ

本社構内のV1タンクのフレキシブル配管が破損する事故が発生しました。フレキシブル配管は直ぐに取り外し、設備の使用を停止した。

フレキシブル配管の構造を知り、適切な使用と安全管理を徹底するため、配管継手メーカーの(株)テクノフレックス 田中様を招き、フレキシブル配管の勉強会を行いました。

フレキシブル配管の網状の部分(ブレイド)は、圧力による膨らみを押さえるものだと思っていたが、伸びを抑制するためのものであることが解りました。また、ウオーターハンマーといった断続的な圧力は、通常の4倍もの負荷が配管内にかかっており、温度差による伸縮も考えた取付をしなければなりません。

当社の屋外タンクに取り付けてあるフレキシブル配管をすべて点検し、適正にフレキシブル配管を取り付けます。

また、絶対的な信用をせず、腐食や損傷が発生するものとして、日々の目視点検やポンプ始動時のフレキシブル配管の動きを確認するなど、定期的な点検を行う。そうすることで破損事故や災害時の事故を抑えることに繋がる。



(安原)



PCB混入の疑いがある廃油を収集した事故

平成23年5月20日、鳥取県のお客さま先で廃油収集時に誤って低濃度PCBが混入している疑いがある絶縁油を収集する事故が起こった。

分析の結果、原因の絶縁油、絶縁油が混じった廃油、タンクローリーの洗浄油ともに基準値以下であったため、大事には至らなかった。

しかし、この日同じ車両で収集したお客さまに対してご迷惑をお掛けしたことはもちろんであるが、分析結果が出るまでの間タンクローリーの使用を約10日間停止したことで、他のお客さまにもご迷惑をお掛けすることになりました。大変申し訳ないことをしました。

今回の処置は鳥取県及び島根県のそれぞれの監督官庁の指導により、安全且つ的確に処理ができたことで、事故発生時の第一報がいかに重要であるかを再認識しました。

原因は「証明書がなければ引き取らない」という社内のルールを現場の担当者に徹底していなかったことにあります。お客様には廃棄物の性状の報告をしていただくよう、啓発活動を行っていきます。

PCB問題は過去の問題ではなく、現在も続いていることを全社員が認識することと、何故PCBがここまで強く規制される様になったのか、その背景をもう一度勉強する必要があると感じました。

(安原)



島根県危険物保安協会連合会 危険物安全講演会を聴講して

「東日本大震災から学ぶ」という演題のもと、防災・危機管理アドバイザー 林様の講演をお聞きした。このたびの震災ではアドバイザーという立場で、現地へ出向き、惨状を見てこられた。講演のなかで、特に心に残ったことを報告します。

危機管理は気配りから

- ・危機管理意識は普段の生活から生まれる。
- ・危機管理に欠ける者に安全管理は任せられない
- ・危機管理意識は、お金のかからない「安全・安心の保険である」
- ・危機管理の最終目的は「安全」である。
安全は与えられるものではなく、自らがつくりだすもの。

災害から身を守るには、

- ・自然の力には絶対に勝てない
- ・正常化の偏見を持たない
- ・行政依存型にならない
- ・自分のことは自分で責任をもつ
- ・避難路を普段から確認しておく
- ・過去の歴史から学ぶ

津波は来ないなどと慢心しない。来ると思っ
て対応しておく。

私たちが住んでいる地域は幸いにも自然災害が少ないところです。しかし、身の回りで、不測の事態がいつ起こるかわかりません。その不測の事態を常に予測して、日ごろから対策をとっておかなければならないと感じました。

(岸本)